

静岡県中部における海拔表示シート設置 ～静岡県運用の策定～

国土交通省では、東日本大震災で甚大な被害をもたらした津波被害を踏まえ、津波被害を軽減するための対策の一つとして、道路施設等に海拔情報を表示することにより道路利用者に海拔情報を提供することを目的として、海拔表示シートの全国統一の設置方針(案)を定めました。

静岡国道事務所は、平成24年8月29日に静岡県中部における幹線道路において、海拔表示シートを設置しました。

今後、国道・県道において、年度内を目処に県内約350箇所の整備を、国土交通省及び静岡県にて進めていきます。そのうち、静岡国道事務所では、富士市及び静岡市内で119箇所の整備を予定しています。

〈表示内容〉

静岡県内では、多数の市町村において既に海拔表示の設置が進んでいるため、表示内容等について整合をとっています。



- 言語：多言語表記を取り入れています(原則として英語、ポルトガル語、中国語、韓国語の4カ国語)
- 海拔表示：表示シートを設置している地面の海拔について「海拔〇.〇m」と表示します
- 管理者：海拔標示板を設置した管理者を表示します

〈設置対象・設置範囲〉

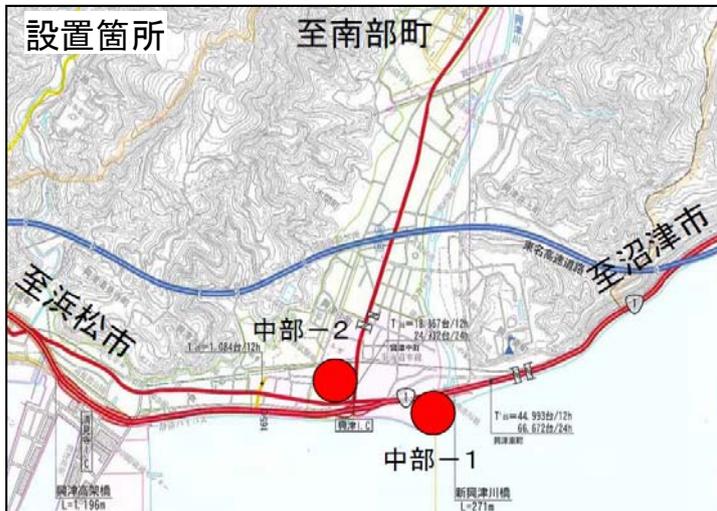
海拔表示は、標識柱、横断歩道橋橋脚、門型柱、信号柱等視認性の高い道路施設等に設置します。

市町など横断歩道橋や大型標識等設置対象物が少ない道路への対応にも配慮し、信号柱や照明柱などにも設置できるようにしました。

安政東海地震推定津波浸水域を包括する範囲を表示対象区間として設定しました。

今後第4次想定など公表された場合は速やかに反映させます。

〈静岡県中部における海拔表示シート設置状況〉



中部-1

国道1号(静清BP)下り163.90kp
興津川橋西詰の案内標識
表示数値:8.8m

中部-2

国道1号(現道)上り164.53kp
興津中町交差点手前の案内標識
表示数値:4.7m

